



奉仕の精神を大事にして継続性のある 楽しく充実したロータリー活動の実践を！

ロータリー月間

第2084回例会 2021.10.4

会長／田中 寛 幹事／田中靖彦
副会長／山地久守 会報／長澤好太郎
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／四つのテスト

会長挨拶



田中 寛会長

皆様こんにちは。9月30日(木)に、全国的な緊急事態宣言が解除になり、宮崎も蔓延防止等重点措置が解除になりましたので、本日は久しぶりの例会の開催ができました。こうして当ロータリークラブの会員の皆様と直接お会いすることができ、大変うれしく思っています。新型コロナウィルスの流行もかなり下火になってきたように思いますので、このまま終息に向かっていくように心から願っています。

これまで、当ロータリークラブの各行事を含めて延期や中止になり、また、2730地区の各行事についても、何とかZOOM開催等により実施がなされてきましたが、ロータリークラブの活動は、会員が一堂に会して、各行事の内容について意見を述べったり、また意見交換等をすることにより活性化すると思います。

これからは、当ロータリークラブの例会や、各行事を、できる限り充実したものにできるように取り組んでいきたいと思いますので、皆様のご協力をいただきますよう宜しくお願ひ致します。

また、10月1日(土)に開催された宮崎県中部グループ会長幹事会に、私と田中靖彦幹事が出席してきました。その席で、本年10月23日(土)午後1時30分から、シーガイアコンベンションセンターで実施予定のインターナショナルミーティング実施のホストクラブである宮崎ロータリークラブの会長から、上記企画は是非成功させたいので、各ロータリークラブから少なくとも30パーセントの出席をお願いしたいとの強い要望が

出席委員会報告

中武照利委員長

●出席状況

| 本日状況 | | 前々回修正出席状況 | | |
|--------|--------|------------|---------------|----|
| 会員数 | (48) | 49名 | マークアップ数 | 2名 |
| 本日欠席者数 | 15名 | 修正出席率 | 66.67% | |
| 本日出席者数 | 34名 | マークアップされた方 | 熨斗克典会員、寺村明之会員 | |
| 出席率 | 70.83% | | | |

| | | | |
|-------------|---------------------|-----|-------------------------|
| ニコニコ BOX | 0件 累計 22,000円 | 募金箱 | 5,469円 累計 29,712円 |
|-------------|---------------------|-----|-------------------------|

ありました。そこで、当クラブからは、少なくとも15名の出席を考えておりますので、皆様の全面的なご協力をお願い致します。

幹事報告

田中靖彦幹事



1 NPO法人エコキャップ推進委員会よりお礼
宮崎南ロータリークラブが発送した8/19日受領分のエコキャップ
1,720個に対してお礼の受領書が届

きました。(1,720個=4.0Kgになります)

ちなみに発送累計個数は、223,944個になっております。

2 热海豪雨災害被災地支援金報告

第2730地区

7月3日の熱海土石流災害に対しまして義援金を募り被災地支援金1,261,876円集まりました。
この度は被災支援金ご理解とご協力にお礼申し上げます。

国際ロータリー第2730地区

井福博文ガバナー事務所

3 第2730地区 2024-25年度

ガバナー候補者（ガバナーノミニーデグジネット）推薦のお願い
選出にふさわしい方がいらっしゃいましたら
ご連絡ください。

4 蓮田ロータリークラブ

姉妹クラブの蓮田ロータリークラブの創立50周年記念DVDが2枚、届いております。
鑑賞される方は事務局までご連絡ください。

●結婚月

9月 大浦秀幸会員、日高安隆会員



10月 菊池武英会員、富井雄二会員、松田安典会員、山崎栄一郎会員、鈴木 健会員、村野 裕会員、鈴木浩二会員



●誕生日

9月 松下美佐子会員、田口幸登会員、杉本英一会員、井野元孝洋会員



10月 松田安典会員、井上竜志会員、中武照利会員



本日のプログラム

会員卓話

大浦秀幸会員



皆様、こんにちは。前回交換留学生だった体験談を話してから早くも番が回ってきました。今回は、今世界で不安視されています「ウッドショック」についてお話をさせていただきます。なぜ、わたしがこのことについてお話をするのは、木材

界で仕事をしている立場として通常のニュースなどではざっくりとした表面的なことしか一般の方々に伝えてないので、少し掘り下げて現状をお話しさせていただきます。

今、建築業界、そして林業界ではウッドショックが起きたと大騒ぎになっており、今年に入ってから日本国内のみならず世界的に木材価格が急騰しております。アメリカでは3倍に、日本でも倍以上になっている例もあり末端でも大幅な値上げ状態で、その結果住宅などの建築が計画どおりできないと都市部になるほど悲鳴があがっている状況です。

Q：ではなぜ起こったのか？？

1番の原因はまずはコロナウイルスですね。海外の木材製材メーカーの人員が約半分になってしまい、人が半分になると生産量も半分になってしまうので木材の供給量が少なくなり、日本に出荷できなくなりました。その中でガソリンもすごく値上がりしており船賃もあがっています。そこへ来て前のトランプ政権の住宅政策の影響で、アメリカの住宅着工数が2021年3月だけで日本の2年分の着工数に相当するぐらい住宅を建てています。また、コロナでリモートワークで自宅にこもるようになった市民が、住宅を郊外に新しく購入したりリフォームを盛んに始めたのも要因と考えられます。そのような影響もあり、2020年12月時点で取引されていた同じ木材が2021年6月の段階で、アメリカでは3倍の価格で取引されており、日本でも6月の段階で外材、集成材が2倍～3倍の価格になっています。

また、アメリカと中国が木材の競り合いをして価格をつりあげており、そこへきて日本は約40年も外材を毎回仕入れている国ではあるが、日本はいいものを安く大量に買い叩くという文化で物が良くないとダメ！でも安くしてねというスタイルで、それと比べてアメリカ、中国は悪いものでもなんでも適正な価格で買ってくれるので日本の商社が外材を買い負けしているとも考えられます。それと、Jグレードは日本の木材のグレードで最高水準のもので、その下にBとかCやDグレードがある。中国の商社はそれも全部一緒でいいからと言って今の値段より高く買うそうです。ジャパングレードを作っている場合ではない。そんなこともあってなおさら日本に入ってきたのが現状みたいです。

ウッドショックが住宅業界に与える影響は、木材を多く使用する木材住宅の価格にあります。特に、木材住宅で木材を使用する主な部材として柱と梁があります。梁とは柱と柱の間に水平に設置され屋根や2階の床などを支える一番大事な部材です。近年の住宅スタイルはリビングルームやダイニングルームを広く取りたい傾向が強く、左右の柱間が長くなり強度がある木材を使用する必要があり、その材料に外材である集成材が使用されています。特にこの集成材が品薄で価格も高騰しております。今後も上がる予定です。

また、ローコスト住宅メーカーでとくに都市部のメーカーは、もともと安い輸入木材に頼っている場合が多く影響が強く、基礎工事は終わったがそれから先に工事が進まない例も多く聞かれます。

そこで、輸入木材に頼らず、国産木材に切り替えていこうとしているハウスメーカーも多くなっています。ただし、国内林業も供給量が減っており、丸太も梅雨時期と重なり出荷量も少なく、木材の人口乾燥機の台数に限りがあるので、国産木材の生産量も増やせないのが現状です。もちろん、そういう状態ですので木材の奪い合いが始まり、国産木材もひどい時は2週間おきに価格を上り、特に人工乾燥杉材などは以前より1.5～2倍の価格高騰になっています。地元の丸太も以前1万円だったものが約1.8万円ぐらいになったまま上げ止まりの状態です。地元の丸太のせり市では、初夏ごろからいつもの地元の業者以外の県外大手の業者（アイパッド片手に革靴で市場に来るような方！（笑））も参加するようになり簡単に高値でごっそり持つていかれる異常事態になっています。

ところで、過去の木材価格との比較について木材業界に入って約40年的人が20代に業界に入ったときにこの単価だと言われた金額が、長年かけてずっと下がってきたが、今回のウッドショックの影響から入社したころの単価に戻ったという話を聞きました。本当は今の価格が適正価格なのかもしれない。

林業全体のことを考えると今の価格を維持して欲しいと言いました。

今後大事なのは、林業では、木を切った後に苗木を植えることが流れではあるが植える費用や苗木不足もあり切って終わりのハゲ山になって

いるところが多いと思います。自然災害にも直接つながりかねません。われわれ林業人にとっては国産材の課題を見直す良いきっかけとなるウッドショックになったかもしれません。できたらそう考えていきたいと思います。

井上竜志会員



東京オリンピックでは、日本のメダルの獲得数は、金が27個、銀が14個、銅が17個、合計58個で、世界3位でした。金メダルの重さは556g、銀メダルは550g、銅メダルは450gだそうです。素材はというと、金メダルは純銀でできていて、金メッキがほどこされているそうです。コロナ禍の開催でしたが、アスリートにとって、うれしい開催だったと思います。延期なのか中止なのか直前まであやふやだっただけにアスリートたちのモチベーションや体力の維持を調整するのが難しかったのではないかと思います。

金といえばカネです。皆さんの大好きなおカネですが、まず、お金の起源から話しますと、日本では、飛鳥時代で文明が発達していないころ、欲しいものを手に入れるためには、物品貨幣といって物々交換を行っていました。交換の仲立ちは、生活必需品の米、布、塩などが物品貨幣の役割をしていました。その後、日本にも文明が取り入れられましたが、貨幣の製造には至っていませんでした。奈良時代、平安時代、西暦700年代には和同開珎を中国の制度にならって鋳造していました。その貨幣を世間に流通させるために、庶民には税を錢で納めさせたり、錢を蓄えた者には位を授けるといった、様々な政策を打ち出していました。そして、平安時代の中頃までの約250年間には12種類の銅錢が作られました。当時は製造方法も簡単幼稚で偽造する人が多かったので、次から次へと錢を変えていったといわれます。作り変えられていく中、時代が経つにつれて、原材料が不足し、貨幣の質が落ち、形も小さくなつて貨幣の信用が薄らいでいき、流通していなかつたのが当時の実状でした。

再び物品貨幣にもどりましたが、社会経済が発達するにつれ、お金の必要性が高まってきました。しかし、政府の発行する貨幣が無かつたため、中国から輸入してそれを使っていました。これを渡来錢といいます。平清盛が全盛期の時

代から多量の渡来銭が輸入され流通したといわれます。ずっと時がたち江戸時代のころから、金貨銀貨などが統一され始め、三代将軍家光の時に寛永通宝の銅貨ができて、金銀銅がそろったのがこのころです。明治時代になると貨幣制度を改定し円、銭、里の単位ができ、10進法の通貨制度ができました。

現代のような貨幣になるのは、何度も作り変えられたり、戦争で物資が無いときは硬貨や紙幣を小さくしたり、時代にあわせて変化を繰り返してきました。

現在では、紙幣は偽造防止等の理由で定期的に作り変えられます。

千円札、五千、一万、なぜか硬貨よりも軽い紙幣のほうが価値があります。2024年には500円玉も紙幣も作り変えられるようです。

千円が北里柴三郎、(熊本県阿蘇小国町出身、熊大医学部、東大医学部を卒業し、ドイツに留学破傷風の抗体を発見血清療法をあみだした。受動免疫、ワクチンは能動免疫)、五千円が津田梅子、(出身は東京御徒町、アメリカに留学英語教師、教育者) 一万円が渋沢栄一、(埼玉県深谷市出身、明治維新時代の大蔵省の一員、33歳で辞め第一国立銀行(今のみずほ銀行(システム障害ニュースで話題))の頭取、実業家)

2000年には沖縄サミットを記念して2千円札が発行されました、こちら本土ではほとんど見ることが無くなりましたが、沖縄ではATMで9千円引き出すと、2千円札が4枚と千円札が出るみたいです。という噂です。

最近では、ウイルス感染防止のため、お金の受け渡しなどを避けるために、キャッシュレス決済、カード払いがはやっています。以前からバスではニモカや、コンビニでもナナコなどのICカード、携帯で支払うこともできるようになりました。小銭が不要になり、お金の存在価値がなくなってきたように思います。

カネの話をできましたが、最後に、ロータリーでかねといえば点鐘があります。ロータリーといえば点鐘といつてもいいくらいなくてはならない存在です。ロータリーは世界中に存在していてやり方は様々ですが、点鐘を鳴らすのはほとんど日本だけらしいです。点鐘はチャイムの意味もあり、はじまりと終わりに鐘を鳴らすことで、時間通りにことを進めるという日本人の几帳面さの表れだと思います。ちなみに鐘

が5万9千円、木槌が4千4百円、時間となりました。「時は鐘なり」でした。ありがとうございます。